

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニッセ-テリカ湘南工場	階数	地上2F
建設地	足柄上郡中井町境字上道平815番1 他	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	300 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年5月 予定	評価の実施日	2012年9月1日
敷地面積	23,378 m ²	作成者	カムラ建築研究室
建築面積	6,270 m ²	確認日	2012年9月1日
延床面積	7,898 m ²	確認者	カムラ建築研究室



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 88%
上記+: 80%
上記+: 80%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 4
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

音環境: 2.4, 温熱環境・視環境: 1.5, 空気質環境: 2.8, 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性: 3.0, 耐用性: 3.0, 対応性: 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

建物の: 4.4, 自然エネ: 4.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源: 3.6, 非再生材料の: 2.8, 汚染物質: 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化: 3.8, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項

総合		その他
工場の製造エリアと事務エリアのゾーニングを明確に行ない、全体の配置計画を行なった。製造エリアは、各室に求められる温度や水の使用などに応じた、仕上りや空間の計画を行なった。また、建物機能を継続利用していくために、更新や修繕時のメンテナンス性を考慮したスペースを確保している。仕上材においても、耐用年数や改修性を考慮した材料を選定した。		特になし。
Q1 室内環境 事務エリアの音や温熱環境の設定は標準的ではあるが、工場の製造エリアとのゾーニングを明確に行っており、サッシ開口を極力設けている。	Q2 サービス性能 執務スペースには、天井高さや広さには余裕を持たせ、フレキシブルな運用に配慮している。また、休憩室やリフレッシュスペースを十分に設けている。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の状況に調和させ、既存緑地の確保を行う。また、出入口を一元管理することで、防犯性、防災性を強化する。
LR1 エネルギー 主要なエネルギー消費を把握し、分析を行い、年間エネルギーの消費量の目標値を計画している。	LR2 資源・マテリアル 工場の排水を再生水として利用し、屋上散水に利用する。	LR3 敷地外環境 工場周囲の環境に配慮し、騒音、振動、悪臭に対して、対策を行う。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される